

国営農地再編整備事業 富良野南富地区

事業の概要

本事業は、北海道の中央部に位置する富良野市及び南富良野町の1,916haの農業地帯において、区画整理を施行し、スマート農業の導入や高収益作物の作付拡大等に対応した畑及び水田の大区画化など生産基盤を整備し、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化を図るものである。

事業の目的・必要性

本地区では、スイートコーン、かぼちゃ、メロン等の野菜類に、小麦、大豆、水稻等を組み合わせた農業経営が展開され、さらに、スマート農業の導入や農作業請負組織の活用を通じ、労働生産性の向上やばれいしょ、たまねぎ等の高収益作物の生産拡大等による産地収益力の向上を目指している。

一方で、本地区の農地は、区画が狭小で、排水不良が生じているとともに、一部のは場では石礫過多であることに加え、田と畑の土地利用が錯綜しているため、効率的な営農作業を行う上で妨げとなっていることから、生産性が低く、効率的かつ安定的な農業経営のための利用集積が進んでいない。

このため、本事業で区画整理を施行し、スマート農業の導入や高収益作物の作付拡大等に対応した畑及び水田の大区画化など生産基盤を整備するとともに、土地利用の計画的な再編と担い手への農地の利用集積を進め、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図り、農業の振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資するものである。

事業の効率性

・総費用総便益比の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総費用（現在価値化）	①＝②＋③	54,680百万円	
当該事業による費用	②	47,099百万円	当該事業費69,000百万円
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	7,580百万円	
評価期間（当該事業の工事期間＋40年）	④	55年	工事期間 令和8～22年度
総便益額（現在価値化）	⑤	65,632百万円	
総費用総便益比	⑥＝⑤÷①	1.20	

（注1）総費用とは当該地域内において効果を発揮する一連の施設に係る費用であり、評価期間中の施設の資産価額、整備費等である。

（注2）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

（注3）数値は土地改良法に基づく手続を経て確定するため、現時点では暫定値である。

・年効果額（便益額）

本事業の実施により、効率的な農業経営が図られることによって、事業を実施しなかった場合と比較して、年間 3,715 百万円相当の事業効果が見込まれ、農業経営の安定が図られる。

作物生産効果	1,198 百万円
品質向上効果	354 百万円
営農経費節減効果	1,754 百万円
維持管理費節減効果	△19 百万円
地籍確定効果	17 百万円
その他の効果（水田貯留機能向上効果）	177 百万円
その他の効果（国産農産物安定供給効果）	235 百万円
計	3,715 百万円

（注）百万円単位で四捨五入しているため、数値は算定結果と合わない場合がある。

日程・手続

令和 7 年度から、土地改良法に基づく土地改良事業計画の概要の公告等の手続が開始される予定である。

事業に対する決議

令和 7 年 3 月 14 日に、受益者で構成される国営事業富良野南富地区事業促進期成会の総会において、計画内容、費用負担（基本方針）、維持管理体制等について説明し、了解を得ている。

その他

・事業推進体制

令和 3 年 3 月 8 日に受益者で構成される国営事業富良野南富地区事業促進期成会を設立し、富良野市、南富良野町、ふらの農業協同組合、空知川上流土地改良区とともに事業を推進。

・維持管理体制

国営事業富良野南富地区推進検討委員会において、維持管理体制について令和 7 年 3 月 18 日に合意（管理者：空知川上流土地改良区）を得ている。

（構成：富良野市、南富良野町、ふらの農業協同組合、空知川上流土地改良区、上川総合振興局、旭川開発建設部）

・営農支援体制

国営農地再編整備事業富良野南富地区営農検討会において、営農支援体制を整備。

（構成：受益農家代表、富良野市、南富良野町、ふらの農業協同組合、空知川上流土地改良区、富良野市農業委員会、南富良野町農業委員会、上川農業改良普及センター、旭川開発建設部）

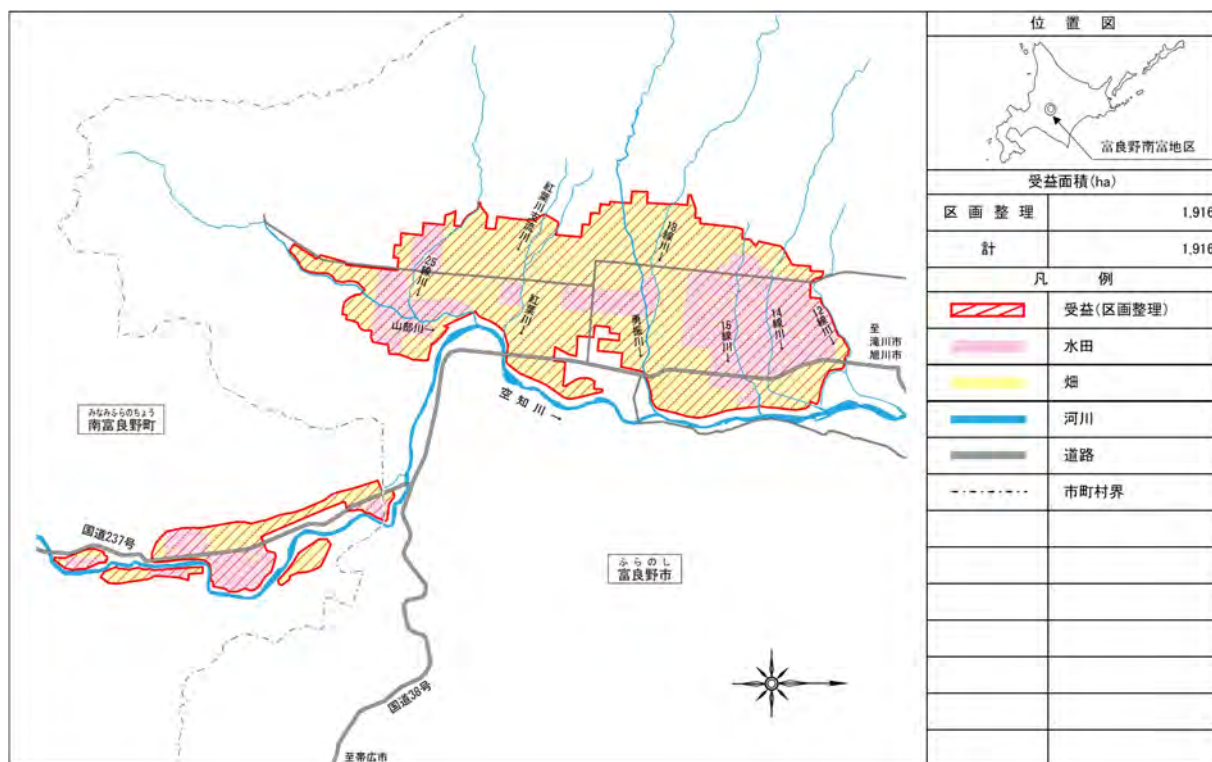
評価担当部局

農村振興局農地資源課

概要図

1	受益面積	1,916ha		
2	受益者数	170人		
3	主要工事計画	工種	数量	事業費
		区画整理	1,916ha	69,000百万円
4	国営総事業費	69,000百万円		

富良野南富地区 概要図



令和8年度新規地区採択チェックリスト

(3) 国営農用地再編整備事業(国営農地再編整備事業、国営緊急農地再編整備事業) ふらのなんぶ
(局名:北海道開発局)(地区名:富良野南富)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	☐
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	☐
3. 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	☐
4. 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	☐
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	☐
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の()には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(3) 国営農用地再編整備事業(国営農地再編整備事業、国営緊急農地再編整備事業) ふらのなんぶ
(局名:北海道開発局)(地区名:富良野南富)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	労働時間短縮率	%	69.7	A
			営農経費縮減率	%	46.8	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
			大区画ほ場の割合	%	99.6	A
			①担い手の米の生産コストの労働費 ②事業実施前と比較した担い手の米の生産コストの労働費	円 /60kg 割	1,192 5	A
	農業の持続的発展	産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率 ②高収益作物の作付面積の増加率	% %	98.2 101.2	A
			担い手への農地利用集積率	%	100	A
		担い手への面的集積（集約化）率	担い手への面的集積（集約化）率	%	100	A
			耕地利用率、作付率の増加ポイント	% %	94.9 5.8	B
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円 /ha・年	2,226	A
		農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	— ○ ○	○ ○	A
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
	環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	— — —	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	A	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性 ②地域計画と本事業との整合性 ③地域における開発計画と本事業との整合性 ④関係計画における関連事業等への位置付け	—	a a a —	A
	関係機関との連携		農地中間管理機構との連携	—	A	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②道路管理者との協議（予備）の状況 ③その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想（関連事業調書）の提出 ②共同事業（事業内容、事業費、アロケーション等）の事前了解	—	— —	—
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a a	A
	緊急性		道路や河川等との一体施行や土地利用調整を伴う場合の調整状況	—	—	—
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	95	A

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(3) 国営農用地再編整備事業(国営農地再編整備事業、国営緊急農地再編整備事業) ふらのなんぶ
(局名:北海道開発局)(地区名:富良野南富)

3. 特定監視項目

項目	評価の内容	判定
1. 農地整備 工事の諸条件	・地形、地質、水利条件等に基づいた農地整備計画としている。	☐

項目を満たしている場合は「○」とする。